

鳥海イヌワシみらい館通信

Vol,44 2022年 秋号



鳥海イヌワシみらい館
マスコットキャラクター
「ワッシーくん」



特集「古事記と野鳥」
とびしまんちゅ流鳥見のススメ③「便利な道具」

「ハイイロチュウヒ」10月 山形県酒田市 撮影：佐々木真一様

古事記と野鳥

我が国の最古の文献とされる「古事記」は、8世紀に成立した上・中・下巻からなる歴史書です。平安期までの我が国に、どのような出来事があったかを知ることができます。

その下巻に、野鳥に関連する人物が多数登場する章があります。

古事記のみならず、さまざまな古文書を探れば科学技術が今のように進歩していなかった時代の人々の自然観を知ることができそうですね。

(写真: 萩田小夏 / 参考文献: 古事記)



スズメ

登場人物



【おおささぎのみこと】
大雀命＝仁徳天皇

※ササギ＝スズメ目の小鳥

仁徳天皇は、4～5世紀ごろ(古墳時代)の天皇。夕食時、各家庭から炊事の煙が上がっていないことを不思議に思い、側近に尋ねたところ「民衆は貧しく食べるものがないのです」と聞き、税の徴収を停止するなどの善政を行ったことで知られる。聖帝と称された。大阪府にある大きな仁徳天皇陵(世界遺産)で有名。



【はやぶさわけのみこと】
速総別命

仁徳天皇の異母弟。仁徳天皇と雌鳥王の仲人となるはずが、仁徳天皇と結婚したくないという雌鳥王と結婚することになり、自らの慢心も加わり悲運をたどる。



【めどりのみこ】
雌鳥王

仁徳天皇の異母妹で、天皇より求婚されるが、皇后である石之日売がたいへん嫉妬深く、同じく皇后となっていた雌鳥王の姉、八田皇女の苦勞を知っていたことから、天皇の求婚を断り速総別命と結婚する。



【いわのひめ】
石之日売

仁徳天皇の皇后のうちの一人。万葉集に4首選ばれるほどの歌人。たいへん嫉妬深かった。



大雀命(仁徳天皇)は石之日売と結婚していますが、異母弟である速総別命を仲人として、異母妹である雌鳥王にも求婚します。



ハヤブサ



しかし雌鳥王は、皇后石之日売がたいへん嫉妬深いことを、同じく皇后となった雌鳥王の姉、八田日売からの苦勞話に聞いていたため返事をためらい、速総別命を慕っていることを伝えます。雌鳥王と結婚することになった速総別命は大雀命に報告することができなくなります。



しびれをきらした大雀命が、雌鳥王へ返事を聞こうと寝所へ行きますと、雌鳥王が服を作っているところでした。「誰の服を作っているのか?」と聞きますと、「速総別命のために作っているのですよ」と言われ、二人の関係を知り結婚を許すことになりました。



しかし雌鳥王は、以下の和歌を速総別命に贈ります。
“雲雀は 天に翔ける 高行くや 速総別 鷓鴣取らさね”

※ヒバリは天高く飛ぶ鳥ですが、ハヤブサはそれよりも飛翔能力が高いことでしょう。それならばササギなどつかまえてしまえばよいではありませんか。

二人が慢心して大雀命を侮辱しているといううわさが広がり、ついには大雀命の耳にも入ります。それに激怒して、大雀命は二人に追手を向かわせます。



速総別命と雌鳥王は伊勢神宮へ参拝する途中、奈良県(諸説あり)の山中で追手から殺されてしまいました。

庄内の動物情報コーナー

最強の台風と言われた台風14号、果樹等の収穫時期に重なり少なからず被害を受けた農家さんもいらっしゃるようです。渡りの時期は土日に天候が悪い日があり、なかなか観察が難しい休日が続いた気がしています。皆さんのお住いの地域の自然情報を moukin@raptor-c.comまでお寄せください。



2022/7月「エナガ」酒田市
かわいい～。世間ではシマエナガばかりもてはやされていますが、エナガだってめちゃくちゃかわいいですよええ。
撮影：たちん



2022/8月「ヨシゴイ」酒田市
サギ類では最小のヨシゴイ。枯れたヨシの葉に擬態します。たとえ擬態に気づいても気づかないふりをしてあげてほしい。彼らのプライドを汲んで！
撮影：佐々木真一様



2022/8月「メスグロヒョウモン♀」鶴岡市
ヒョウモンチョウと言えば、その名が示す通りオレンジ色のヒョウ柄ですが、こちら名前が示す通り、メスが黒いヒョウモン。じゃあオスは？しっかりとオレンジのヒョウ柄なんです。撮影：渡会様



2022/8月「ミヤマサナエ」鶴岡市
あんまり見ねえ顔だなあ。と思っていたら、割と標高の高いところに生息するサナエトンボのなかまでした。横でなく縦に入るイエローラインが素敵。
撮影：本間憲一



2022/9月「ハチクマ+α」酒田市
秋限定！猛禽類観察祭りは、台風との戦いです。晴れば秋晴れの気持ちのよい空の下ですが、悪いときは本当に・・・ぐすっ
撮影：宇佐美信一様



2022/9月「ホウロクシギ」酒田市
数年ぶりに観察できた大きなシギ。焙烙（ほうろく）とは素焼きの焙烙鍋のことで、お腹の色がその色だそう。ホーロー鍋に似ていればホーローシギだったかもしれない？
撮影：佐々木真一様

全国の動物情報コーナー



2022/10月「イノシシ親子」酒田市
北庄内ではあまり観察例は多くないイノシシですが、親子に遭遇しました。お隣庄内町でも捕獲されたそうです。
撮影：本間憲一



2022/7月「カエンタケ」神奈川県平塚市
「明太子が落ちてる！ラッキー！」と思っ
はいけません。超猛毒のカエンタケはさわるだけで皮膚に影響があるそう。
撮影：こまたん内山様



2022/10月「変わった色のカラス」山形県河北町
完全ではないですが色素が欠乏しているカラスのようです。真っ白なカラスも目撃例がありますが、このカラスも珍しいですねえ。
撮影：いたさか様

イベント開催報告

○昆虫採集&標本作り教室「鳥海山昆虫ラボ！」

7月23日(土)に、庄内昆虫同好会の皆さんの協力で、昆虫採集と標本作りの教室を開催しました。

前日までの雨続きもあって、当日も雨が心配されましたが、なんとか午前中のフィールド活動の時間は雨が小休止してくれて、そのすきに予定を一部変更してフィールド活動を行いました。

天候の影響もあってか、採集した昆虫の数は多くはありませんでしたが、少しでも外での活動ができたことは、子供たちにとっても楽しい思い出になったのではないかと思います。

午後からは自分で採集した昆虫の形を整えて標本作りに挑戦しました。熟練の昆虫同好会メンバーの手ほどきで上手に標本作りをしていました。

参加してくれた皆さん、昆虫同好会の皆さんありがとうございました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため少人数での開催となりました。今回参加できなかった皆さん、また来年の開催にご期待いただければと思います。



○特別展示「世界一おもしろい絶滅したいきもの展」

6月16日(木)～9月4日(日)までの期間、夏休み特別企画展示「世界一おもしろい絶滅したいきもの展」を開催しました。ダイヤモンド社発行の書籍「わけあって絶滅しました。」を展示化したものです。

絶滅した生物たちが、ほろんだ理由の一人語りを聞いて、絶滅危惧種のイヌワシについても考えてもらおうと企画しました。子供たちに人気の恐竜はもちろん、近代まで生息が確認されていた生物のほか、現生の”絶滅しそう”な生物までも展示しました。

カマラサウルスの全身骨格は、全長6mほどですが実物標本という事で学術的にも大変貴重な資料でした。多くの子供たちが記念撮影をしてくれました。メガロドンの歯もほぼすべての歯列が並びその大きさを知ることができました。

来場者は”語り”の内容に笑いながら楽しく生物たちに関心を持ってくれたのではないかと思います。宝箱クイズも楽しんでいただけたようです。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入館予約制とさせていただきます。来館された皆さんありがとうございました。またせっかく来場して下さったにもかかわらず入館できなかった方々には大変ご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。



○”現代の名工”内山春雄直伝「初めてのバードカービング」

7月31日(日)厚生労働大臣により”現代の名工”として認定されている内山春雄先生を講師にお迎えし、「初めてのバードカービング」講座を開催しました。山形県内ではなかなかなじみのないバードカービングですが、資料保存の観点からも最近注目を集めてきています。参加者はお手本として披露された内山先生の”匠の技”にきぎ付けでした。参加者の作品もとても初めて作ったものとは思えない仕上がりで、夏休みの良い思い出になったようです。ちなみに当館に展示してあるイヌワシの模型も内山先生の作品で、迫力のある姿は開館当時と変わっていません。参加してくれた皆さん、内山春雄先生ありがとうございました。また次回の講座にもご期待いただければと思います。



イベント開催報告

○ミライニ共催トークイベント「わけあって絶滅を語る」

8月21日(日)、開館したばかりの酒田中央図書館”ミライニ”にて共催トークイベントを開催しました。鳥海イヌワシみらい館で開催した特別企画展示に合わせて、書籍の著者である丸山貴史先生と、ダイヤモンド社編集の金井弓子さんに登壇いただきました。

イベントは満員御礼で、書籍の話題と関心の高さが伺えました。お二人からはクイズを交えて子供達と書籍と特別展示について解説していただきました。お話も書籍同様にとっても楽しくて、笑いが巻き起こりながら生物について学ぶことができました。

参加してくれた皆さん、また遠路はるばるお越しいただいた丸山貴史先生、金井弓子さん、共催にあたって準備いただきましたミライニスタッフの皆さんありがとうございました。



○「夏休みクラフト体験教室」

8月上旬の週末7日間限定で、夏休みクラフト体験教室を開催しました。特別展の開催に合わせて、内容も「絶滅」にちなみ本物の化石を使った”絶滅チャーム作り”、”アンモナイトの消しゴム作り”を開催しました。

世界に一つしかないチャームや消しゴムができていました。見るたびに地球の生命の歴史を感じて、絶滅について考えてほしいと思います。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体験人数と開催時間を限定して行いました。



○林野庁共催フィールドワークショップ「森林とイヌワシがらすSDGs」

9月3日(土)、林野庁庄内森林管理署共催によるフィールドワークショップ「森林とイヌワシがらすSDGs」を開催しました。全国的にイヌワシの生息地となっている国有林について知り、イヌワシの生息環境について観察するフィールドワークショップです。

当日はあいにくの雨天となりましたが、庄内地方の国有林内に特別に入林させていただき、国有林の管理について学ぶことができました。イヌワシの生息地ではイヌワシを観察することはできませんでしたが、イヌワシが必要とする環境セットについて知ることができたと思います。

参加してくれた皆さん、共催いただいた林野庁庄内森林管理署の皆さんありがとうございました。



○鳥海山飛鳥ジオパーク推進協議会共催観察会「イヌワシと秋の渡りを見よう！」

9月23日(金・祝)、鳥海山飛鳥ジオパーク推進協議会との共催による観察会「イヌワシと秋の渡りを見よう！」を開催しました。

当日はあいにくの雨天となり、室内講座からスタートとなりました。認定ジオパークガイドで講師の五十嵐和一さんから大変面白いジオパークの解説をしていただき、雨が小休止になったところで外に出での観察を行いました。野鳥講師の伊藤智樹さんからイヌワシと渡りについて説明をしていただきました。あいにくの天候で鳥の出現はなかなか期待するほどではありませんでしたが、少しでも観察活動ができたことは良かったです。参加してくれた皆さん、講師の伊藤さん、五十嵐さん、鳥海山飛鳥ジオパーク推進協議会の皆さんありがとうございました。



イベントのお知らせ

○観察会「ハクチョウのねぐら入りを見よう！」

酒田市の最上川河口は、全国的にもハクチョウたちが多く集まることで有名な場所です。ハクチョウたちがどのように最上川を利用しているのかを観察しましょう。

期 日 令和4年11月19日(土)
時 間 13:30~16:00
場 所 小牧川水門周辺(酒田市大宮町)
定 員 先着15名
募集期間 令和4年11月3日(木・祝)~17日(木)17:00まで
参加費 一人300円(資料・保険代)
持ち物 双眼鏡(貸出有)、飲み物、懐中電灯
服装 防寒着、防水加工のされた歩きやすい靴、手袋、帽子
講師 鶴野レイナ氏(ワイルドライフリサーチ)
主 催 猛禽類保護センター活用協議会



申込・問合せ

猛禽類保護センター・鳥海イヌワシみらい館

TEL 0234-64-4681

E-mail; moukin@raptor-c.com

参加者の「氏名」「年齢」「ご住所」「電話番号」「双眼鏡の有無」をお知らせください。

○出張展示「ジャパンバードフェスティバル2022」

日本最大の野鳥好きが集まるお祭りに出展します。
お近くにお越しのみなさんはぜひご来場ください！

開 催 日 令和4年11月5日(土)~6日(日)
時 間 5日(土)午前10時~午後4時
6日(日)午前10時~午後3時
場 所 千葉県我孫子市 JR我孫子駅前
主 催 JBF実行委員会

JBF2019バン賞：ワッシーくんと学ぼう！猛禽類保護と生態！
(鳥海イヌワシみらい館・猛禽類保護センター)



人と鳥の共存をめざして
ジャパンバードフェスティバル2022

Japan
Bird
Festival
2022
11月5日(土) 9:30-16:00
6日(日) 9:30-15:00

会場：我孫子駅南口駅前、アビエホール、アヒスタ、手籠冠公園
NPO・学生・市民団体・行政からの協賛、自然環境に関する各地の鳥獣研究、
鳥心写真展・絵画展・写真展や講演会、スタンプラリーや
調理・船上バードウォッチング、工作教室、期間限定グッズの販売など、
鳥をテーマにした楽しいイベント、出展・出店が盛りだくさん！

主催 ジャパンバードフェスティバル実行委員会

TEL 04(7185)1484 <http://www.birdfesta.net> 開催日有田電話 090-9202-5163 090-9202-5164

"とびしまんちゅ流"鳥見のススめ



楽しく、そしてより良い鳥見をするための「小さな親切、大きなお世話」な”ひとり言”です(^; Have a nice Birding!

第3回「便利な道具」



「筆者の観察スタイルと便利道具①～③」

掛けるストラップは重い双眼鏡だと首や肩が凝る。筆者は頸椎椎間板ヘルニアなので、重い双眼鏡はご法度(++)たすき掛けのストラップはいくつかあるが、このウルトラライトハーネスは、他とはけこう違い、とてもいい！重い双眼鏡でも全くと言っていいくらいに負担がない。脱着と長さの調整も簡単だ。これなら持病も心配ない(たぶん(^; ;) !

最後は椅子(写真の③)。猛禽類や海鳥など長時間の観察ではよく椅子を使うが、多くの人はディレクターズチェアのように深く腰掛ける椅子だと腰に負担がかかり、立つも座るも腰がかなり痛くて大変(@_@)そのため、筆者は低い脚立(踏み台)を使っている。これだと高い位置で座れるし、一瞬で立つことができる。腰が痛くなーい\(^o^)/また、フェリー等の海鳥観察では、ディレクターズチェアに座るとちょうど目の高さにデッキの手すりあり視界がふさがれてしまうが、脚立だとそんなことはない！

読者のみなさんも鳥見便利グッズがあれば、ぜひ教えてもらいたい(^)/

今回は光学機器の話をしたので、今回は観察するにあたり、筆者愛用の便利な道具の話をしたい。

まずは「フィンスティック」(写真の①)。ヨーロッパのバードウォッチャーには一般的だという話を聞いたが、日本ではほとんど知られていないし、使っている人を見たことがない！簡単に言えば、双眼鏡が乗るくらいの板に棒をトリつけた物。筆者は自作したものを使っている。これが猛禽類や海鳥の観察には持ってこいだ。腕をあげなくていいので全く疲れなない！腕を上げずに(観察の)腕が上がる！(^;腹が減るまでは、ずーっっと見ていられる！かなりお勧めの道具だ。

続いては双眼鏡のストラップ(写真の②)。首から



築川 堅治 (やながわ けんじ)
日本野鳥の会山形県前支部長。中学二年生よりバードウォッチングを始め、現在はバードウォッチング・ツアーガイドや鳥類調査などを行っている。ライフワークは「飛鳥」。自称”とびしまんちゅ”春秋の渡りの時期を中心に年間約70日間、飛鳥に滞在し飛鳥の野鳥を調べている。著書「日本の離島の野鳥①飛鳥」(わたりがらす出版)



Illustrated by Masami Tsuno

©鳥海イヌワシみらい館

普及啓発担当

怒涛の夏が過ぎ、文化祭の秋真ただ中。そしてこれからまた怒涛の冬が始まります。しっかりと準備をして臨みたいと思います。(本)

事務局

通勤途中に「〇〇を見た」っていう話を聞いて「いいなあ」と思っていたのですが、ついにその時が！！目の前をヤマドリが横切っていました。別の日にはリスに遭遇！突然の出会いですが、何か得た気分ですよね。(清)

希少種保護増殖等専門員

ハクチョウの声 夜空に響き、鳥海山もほんのり雪をかぶる季節。さあ、冬を生き抜くぞ！(萩)

鳥海南麓自然保護官

今年は猛禽類保護センターに入ってくるカメムシ、ダンゴムシがとてつもないです。ベテランスタッフによると昨年が特別に多かったとか。今年はどんな冬になるのでしょうか。(澤)

編集後記&施設情報 鳥海イヌワシみらい館 11月～1月の開館情報

開館時間・・・9:00～16:30

入館料・・・無料

休館日・・・12月の火曜日、年末年始、1月の土日祝

臨時休館日はホームページにてお知らせします。

ホームページアドレス : <http://www.raptor-c.com/>

<https://www.facebook.com/Raptoreagleraptor>

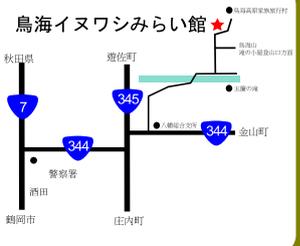
猛禽類保護センター

〒999-8207

山形県酒田市草津湯ノ台71-1

TEL 0234-64-4681 FAX 0234-64-4683

E-mail: moukin@raptor-c.com



鳥海イヌワシみらい館通信
Vol.44 秋号

発行: 猛禽類保護センター活用協議会
(事務局 鳥海イヌワシみらい館内)